

県消防操法大会小型ポンプ操法の部で優勝 南総支団第 11 分団 (牛久)



前列左から小野貢さん、串田総一さん、小林栄一さん、後列左から浅井章一南総支団長、齋藤友和さん、土岐忠行消防団長、佐久間市長、内藤圭一さん、石長川(いしながわ)治さん

7月25日に県消防学校(千葉市)で行われた第45回同大会において、見事優勝した南総支団第11分団(牛久)が、7月30日に優勝報告に市役所を訪れました。

この大会は、県内各地区を勝ち進んだ消防団により、日ごろの訓練成果を競うもの。同団は市内85分団の代表として出場し、県内50消防団824分団の頂点に立ちました。また個人賞でも、1番員の小野貢さんと2番員の小林栄一さんが最優秀賞に選ばれました。



迅速かつ正確に火点(かてん)と呼ばれる的にめがけて放水を行います

市原高校の先生と生徒の指導による パソコン教室



パソコン同好会の生徒による丁寧な指導

南総公民館主催のパソコン教室が7月28日から31日に市原高校のコンピュータ室で開催されました。地域に開かれた学校づくりを目指す市原高校の協力により、同高校の先生が講師となり、同高校のパソコン同好会の生徒も助手として参加しました。

初心者対象の教室のため、受講生の手が止まると、講師や助手の生徒がすばやく受講生の元へ行き、やさしく指導していました。またチャイムの代わりに講師が大きなベルを鳴らし、受講生から笑いが出るなど、とても和やかな教室でした。



みんな真剣にパソコンに向かいます

PHOTO セレクション

未来に残す地域の財産 ちはら台・学園通りで壁画を作成

8月1日、ちはら台南中学校の美術部員が中心となり、学園通りのバス停『文月公園』前の陸橋部に壁画を描きました。地域への愛着を高めるとともにいたずら書きを防止するため、青少年育成ちはら台地区民会議の主催により実施。当日は市塗装協同組合の協力のもと、生徒28人が参加しました。四季をイメージし、3年目となる今回のテーマは『秋』。来年は隣のバス停『四季の丘』で壁画を描く予定です。完成すると、連なる4つのバス停で四季の壁画を見ることができます。



約7時間かけて丁寧に色を塗りました



足場を取って最後の仕上げ

市原産の夏の恵みがいっぱい いちはらフルーツフェスティバル

市原産の果物を広く知ってもらおうと、8月1日にいちはらフルーツフェスティバルがJA市原市梨共同選果場で行われました。会場では、審査員が選び抜いたナシ上位3点を来場者が食味審査するナシ共進会やナシ、スイカ、メロン、ブルーベリーなどの販売、スイカの種飛ばし大会などが行われました。また収穫体験イベントとして会場付近の梨園を当日限定で開放。来場者は味わったり、収穫したりして、地元の旬の果物を堪能しました。



「どれが一番おいしいかしら」真剣に食味審査



種を口に入れて…

「あれ?飛んだかな」

Kid's stage



星野 羽音ちゃん(2歳)、我空ちゃん(1歳)

「最近写真が撮られるのが好きなお姉ちゃん。ママがカメラを向けると『2才ピース!』と言ってポーズを決めてくれます。それを見ていてか弟も『1才!』とちゃっかりポーズ」

Letter From Mobile • 119

モビールの夏の暑さは灼熱です。とりわけ今年の夏は格別で、40℃近くになる日が数日ありました。また初夏の雨不足のせいで、地元の農家は野菜作りに苦労しています。そんな中、サラランド市(モビール郡)の小学3年生のヘイデン・ブリット君は、悪条件を乗り越えて90kg以上もあるキャベツ作り成功し、ポニープランツ(モビールの園芸店)主催の巨大キャベツ作りコンテストに参加し、見事に奨学金を得ました。今度はアラバマ州でのコンテストで1,000ドルの奨学金獲得に挑戦します。(今回のレポーターは、姉妹都市モビールで高校教師と音楽ライターをしているスティーブン・コンティさんです)



90kg以上のキャベツを作りました。

ホームタウン通信

「サッカーひよこ塾」を開催



みんなで記念撮影

7月18日、市原臨海競技場にて家族の触れ合いを目的とした『サッカーひよこ塾』が開催されました。当日は4歳から小学校4年生までの子どもとその保護者が参加し、運動不足のお父さんもジェフリーグやユースの選手に交じって一生懸命に走りました。教室終了後は下村選手や中牧選手、島津選手のサイン会やジェフやユニティとの写真撮影、そしてJFLジェフリーグ対HondaFC戦を観戦。家族でサッカーずくめの1日を過ごしました。

問合せ先 スポーツ振興課 ☎ 9851